

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

ステークホルダーとの関係を重視しながら取引先の基盤を拡大。魅力ある商品で豊かな生活を提供し、持続可能な社会に貢献する。

連結売上高
4,422百万円

営業利益率
5.8%

② 中長期の経営戦略

1. 既存事業の継続基盤強化

食品事業、産業資材事業、マット事業の継続基盤強化に注力。顧客への価値提供と満足度向上を図る。

3. M&Aによる事業強化

成長が期待される分野における事業体制の強化を目的としたM&Aを実施。売上拡大や付加価値向上を検討。

2. 食品事業の拡大強化

北陸工場の増設並びに増強を実施。レトルト工場の増設に着手し、受注増に対応する体制を構築。

4. 産業資材事業の合理化

輸入コストの上昇や物流費の高騰に対応するため合理化を図る。

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不安定性への対応

- ・ 国際情勢の不安定化や為替相場の著しい変動に対応
- ・ 原材料価格の高止まり等による先行き不透明性に対応

② 自動車産業の需要変動対応

- ・ フロアマット納入先の自動車メーカー出荷台数不透明化への対応
- ・ 新車リニューアル時の受注獲得確保

③ コスト上昇への経営資源最適化

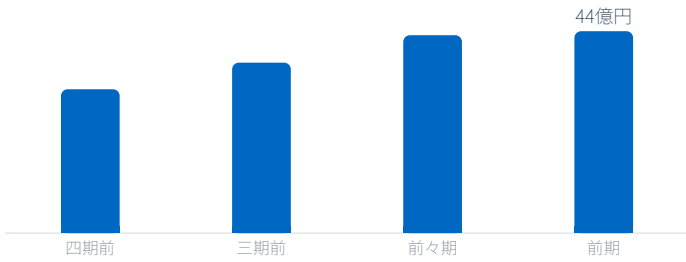
- ・ 輸入コスト上昇や物流費高騰への対応
- ・ 付加価値向上のための経営資源の再配分が必要

面接で使えるポイント

- ・ 北陸工場の増設・レトルト工場拡充など、食品事業の成長戦略に参画できる環境。
- ・ 国際情勢の変動や原材料価格高止まりという課題に対し、事業間で連携する創意工夫が求められる。
- ・ M&Aによる事業体制強化を推進中。新事業開発に携わる機会がある企業。

証券コード 3306

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



要するに
富山県砺波市に本社を置く 商社・卸売業の上場企業

主力事業・セグメント

・卸売業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高

－（未開示）

営業利益率

－（未開示）

財務健康度

40点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 29.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収

389万円

卸売業内 279位/282社

平均年齢

48.3歳

卸売業内 21位/283社

平均勤続

14.2年

卸売業内 124位/282社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 日本製麻(株)【3306】：決算情報

